

協調的幸福感尺度

(Interdependent Happiness Scale; IHS)

背景

Hitokoto & Uchida (2014)による協調的幸福感尺度（略称 IHS）は、「他者との協調性と他者の幸福」、「人並み感」、「平穏な感情状態」に焦点を置いている。これまで欧米で開発されてきた「人生満足感」などの尺度が用いられることが多かったが、こうした尺度で測定される日本の幸福感は他国に比べて低いことが指摘されていた。本尺度は日本的な幸福のとらえかた（内田・荻原, 2012）に基づいて作成されたものであり、日本においても高い値が確認されている。しかし日本のみならず、他文化においても幸福感の協調的概念は重要であり、これまで北米、ドイツ、韓国などの他国においても十分な妥当性が確認されている。

測定概念

幸せが何を意味するかは個人によって様々である。その一方で、幸福の概念は同じ社会に暮らす人々の間で共有されている部分もある。例えば、心理学研究の大半が出版される北米文化で人々が共有する幸福の概念は「個人的な成功（例：よい成績を取る）」を主とした意味合いが強く、日本においては、幸福の概念は「対人関係の調和（例：まわりの人達と仲が良い）」を主とした意味合いが強いことが示されてきた(Uchida & Kitayama, 2009)。

多かれ少なかれ、いずれの文化においてもこの双方が重要であるものの、特に後者の幸福感についての国際的な測定尺度の開発は進められてこなかった。同様に、「私」個人の幸せを測定する尺度は多いものの、他者との調和的な幸せや、他者を幸せにしているかどうか、という概念を測定する尺度もこれまで用いられては来なかった。「持続可能」な幸福が問われる現在において、個人的達成や獲得に基づく幸福のみならず、協調的幸福感の実証的測定が不可欠である。

妥当性

Hitokoto & Uchida (2014)においては1) IHS は日本・アメリカ・ドイツ・韓国で用いることが出来ること、2) 協調的幸福感に類似した既存の心理尺度と予想に沿った相関関係がみられること、3) 総合的な幸福感の尺度と相関する程度は、アジア>欧米であり、さらに日本においても地方部>都市部であることが示されている(Hitokoto & Uchida, 2014)。

展望

今後の研究では、個人の価値観（人生で何が重要か）や自己観（アイデンティティ）、それと関連する社会行動（社会階層、流動性、産業構造など）、IHS の個人差をもたらす要因（社会環境要因や性格特性、脳機能などの要因など）を検証することが必要である。

また、今後は多様な年齢群を交えた文化比較を行う必要がある。その際は、英語版もしくは日本語版

の原尺度からのバック・トランスレーション法(Brislin, 1970)に基づいた翻訳手続きを経て現地の言語に翻訳を行い、心理尺度としての機能のチェックを伴わせて検討することを推奨する。

スコアリング

協調的幸福感 = 第1項から第9項目までの総合計。

著者連絡先

- ・一言英文, ミシガン大学, 心理学部 e-mail: hideckn@gmail.com
- ・内田由紀子 京都大学こころの未来研究センター e-mail: yukikou@educ.kyoto-u.ac.jp

引用先

Hitokoto, H., & Uchida, Y. (2014). Interdependent Happiness: Theoretical Importance and Measurement Validity. *Journal of Happiness Studies*. DOI 10.1007/s10902-014-9505-8

●日本語版.

Q. 以下の文それぞれについて、「1. 全くあてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. 非常にあてはまる」のうち、あてはまる数字1つを選んで○をつけてください。

- 1 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う。
- 2 周りの人に認められていると感じる。
- 3 大切な人を幸せにしていると思う。
- 4 平凡だが安定した日々を過ごしている。
- 5 大きな悩み事はない。
- 6 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている。
- 7 まわりの人たちと同じくらい幸せだと思う。
- 8 まわりの人並みの生活は手に入れている自信がある。
- 9 まわりの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている。

●English ver.

INSTRUCTION:

Q. Please indicate the degree to which the following statements accurately describe you using the scale from 1. Strongly disagree, 2. Somewhat disagree, 3. Neither agree nor disagree, 4. Somewhat agree, 5. Strongly agree. Please choose one option from below, and circle the number on the scale.

1. I believe that I and those around me are happy.
2. I feel that I am being positively evaluated by others around me.
3. I make significant others happy.
4. Although it is quite average, I live a stable life.
5. I do not have any major concerns or anxieties.
6. I can do what I want without causing problems for other people.
7. I believe that my life is just as happy as that of others around me.
8. I believe I have achieved the same standard of living as those around me.
9. I generally believe that things are going well for me in its own way as they are for others around me.